# ㉘ふじのくにi-Construction 推進支援協議会

受賞機関　静岡県 交通基盤部 建設支援局 建設技術企画課

キーワード　広報等、国や建設業界との協働、高い独自性

**全建賞審査委員会の評価ポイント**

中小規模事業者への浸透が不可欠であるi-Constructionの推進のため、県内自治体及び建設関連業界に国土交通省と国総研も参画し、普及啓発活動を行う取組み。

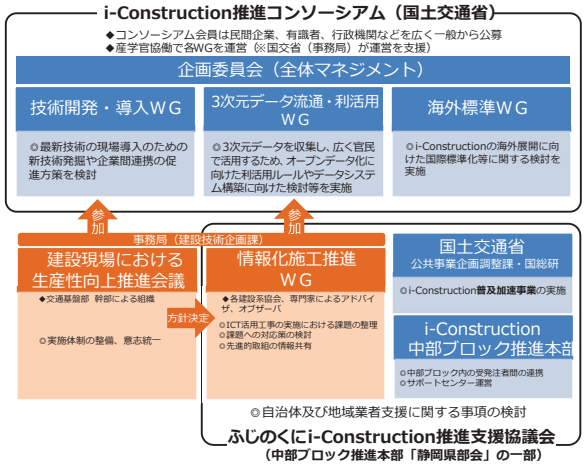
県が中心となり国や業界団体等を巻き込み、他県には類をみない独自性の高い取組みとなっている点が評価された。

## 1. はじめに

静岡県では、国土交通省が推進するi-Constructionの取り組みを受けて、「今やらなければ手遅れになる」との危機感から、近い将来予想される危機的な労働者不足に対応するため、建設現場における担い手の確保や生産性の向上を図るべく、建設現場へのICT導入を積極的に進めており、全国に先駆けて発足した「i-Construction推進支援協議会」について紹介する。

## 2. 事業の概要

「i-Construction推進支援協議会」は、平成28年12月に中小規模事業者への浸透を目的として、静岡県、国土交通省、中部地方整備局、国土技術政策総合研究所、関係団体、市町に加え、アドバイザーとして施工技術総合研究所、富士教育訓練センター、民間会社などにより構成し、中部ブロック推進本部「静岡県部会」の一部として位置付けられ発足した。国の「i-Construction普及加速事業」の実施母体として、国とともに各メンバーのノウハウや知見、技術を持ち寄り、現場での課題抽出と対応策の検証と試行的な施工をセットで行うための支援を行っている。




i-Construction 推進支援協議会組織図

## 3. 事業の成果

### 1）i-Construction普及加速パネルディスカッション

平成29年１月に国・県・市町及び関係業界で連携し、「i-Construction普及加速パネルディスカッション」を開催し、約140人が参加した。i-Constructionのメリットを周知し、受発注者の不安を解消するために、業界のトップランナーをパネリストに迎え、本音で議論するパネルディスカッションを開催するとともに、グループ討議やアイデアソンを通じて課題を抽出し、課題解決のアイデア創出を行うイベントを行った。

パネルディスカッション状況

### 2）建設イノベーション推進の取組み

平成29年11月に県の建設現場が抱える７つの現場ニーズと企業シーズ、あるいは企業間をマッチングさせる「ふじのくに建設イノベーション」新技術交流イベントを開催した。約200名の来場者が今後の新技術活用に向けて、有意義な情報交換を行った。

### 3）ICT利活用セミナーの共催

平成29年12月の新聞社主催による受発注者の意識をICTによる生産性向上に転換してもらうことを目的とした「ICT利活用セミナー」に本協議会が共催し、受発注者約200人が受講した。

### 4）県独自ガイドラインの検討

支援協議会の活動で抽出された課題対応等を踏まえて、中小建設業者向けにICTを円滑に導入するための県ガイドライン等を策定した。

## 4. おわりに

今後もICT活用による出来形管理・監督検査の効率化などi-Constructionの推進について、中小企業の現場の実態に即した支援を行ってまいりたい。